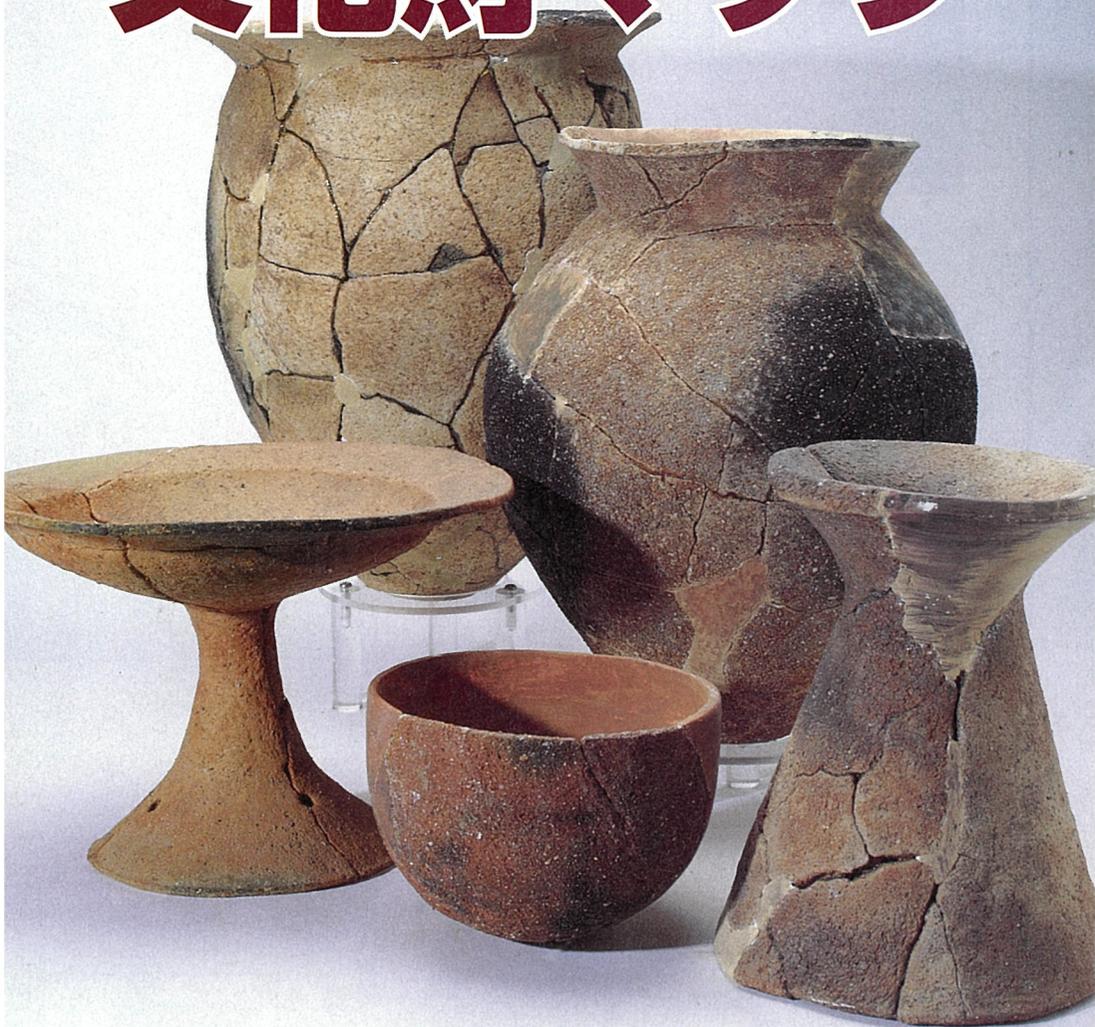


やす たけ つ ぶく
安武・津福校区の

文化財マップ



久留米市教育委員会

安武・津福校区の文化財

昭和60年、久留米市安武町と佐賀県北茂安町との間の筑後川に、延長501mの可動堰「筑後大堰」が完成しました。灌漑・都市用水として筑後川より取水された水は、筑後地区だけでなく遠く福岡市までも豊かに潤しています。

ここに紹介する安武・津福校区一帯は、筑後川が有明海に向けて大きく南に蛇行する部分に位置し、古代から幾度となく洪水の被害を受けたと同時にこの地に豊かな土壌をもたらしました。最近まで風景として残っていた道路や畦、クリークなどの景観が、農地改良事業などによって大きな変化を遂げました。

昭和61年より本格的に始まった安武地区の圃場整備事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査によって数多くの遺跡が発見されました。中でも縄文時代の狩りのための落とし穴が多く見つかった庄屋野遺跡、弥生時代の一大集落であった塚畑遺跡、奈良～平安時代では市指定史跡となった野瀬塚遺跡や、多くの墨書土器が出土した念仏塚遺跡などの発見は、不明な点が多かった安武一帯の古代の様子を知る重要な手がかりとなりました。また今も残る北山古墳は、安武・津福校区内にある古墳の中では唯一、発掘調査が行われ、貴重な土器が出土しています。

鎌倉時代になると「安武村」や「津福村」などの地名が古文書に登場するようになり、戦国時代にはこの地域で勢力を張っていた安武氏の居城である海津城などの名前も見られます。江戸時代には久留米城と柳河城とを結ぶ柳河往還（現在の県道久留米・柳川線）や、府中（今の御井町）へ向かう府中道などの道路網が整備され、元禄年間（1688—1703年）に柳河往還沿いに築かれた目安町の一里塚は、市内で唯一残るものです。

現在、安武・津福校区の文化財は、一般に知られているものが少なく、課題



筑後大堰

が残されていますが、今後、調査が進めば新たな発見や情報を提供できる可能性があります。地域の歴史を知る手がかりとして、あなたもこの『文化財マップ』を活用してみませんか？

■こんなにあるぞ！安武・津福校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	山浦川底遺跡	弥生～室町	川底の砂を採るときに、土器が出土しています。
2	海津城跡	室町	安武安房守の居城と伝えられ、中国産の陶磁器をはじめとする食器などが出土しています。また海津城の名は安武小学校の校歌にも登場します。
3	礎遺跡	弥生～江戸	昔の筑後川に沿った島状の高まり部分から、様々な時代の井戸が見つかっています。
4	垣添遺跡	不明	時代は分かりませんが、勾玉が見つかっています。
5	住吉番所跡	江戸	かつて港町であった住吉に置かれた、船人の往来を取り締まるための番所跡です。
6	ふうりん山古墳	古墳	円墳で、鉄製の鎧や刀などが出土したと伝えられています。今は残っていません。
7	浦頭古墳	古墳	円墳で、金の玉が出土したと言われています。今は残っていません。
8	ころび塚古墳	古墳	金の耳飾りが出土した円墳で、今は残っていません。
9	経塚古墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
10	汐入遺跡	弥生・奈良	弥生時代の甕棺墓と、奈良時代の建物跡が見つかっています。
11	屋敷遺跡	弥生	貝塚があったのではないかと考えられています。
12	城崎遺跡	古墳・室町	古墳時代の土器や、室町時代の建物跡が10軒以上見つかりました。
13	西鳥遺跡	古墳 室町～江戸	古墳時代の井戸や室町時代の屋敷跡に加え、江戸時代のお墓が500基以上見つかっています。
14	東烏遺跡	弥生	竪穴住居・高床建物・井戸などが見つかり、弥生土器や石器がたくさん出てきました。
15	塚畑遺跡	弥生	400軒以上の竪穴住居や高床建物、溝などが見つかり、たくさんの弥生土器や石器が出土しました。久留米の弥生時代を代表する大きなムラです。
16	庄屋野遺跡	縄文～弥生 奈良	縄文時代の落とし穴、弥生時代の環濠、奈良時代の大きな屋敷跡が見つかっています。また地震による地割れ跡も確認されました。
17	柳河往還	江戸	1603年、田中吉政により、久留米城と柳河城を結ぶための道が整備されました。
18	念仏塚遺跡	奈良～平安	井戸や鍛冶工場の跡が見ついている他、墨書土器（墨で文字が書かれた土器）も出土しています。
19	往還西古墳	古墳	現在は納骨堂があり、古墳の高まりが残っています。
20	坂本1号墳	古墳	昭和62年度の発掘調査で周溝（古墳の周りに掘られた溝）が見つかりましたが、今は残っていません。

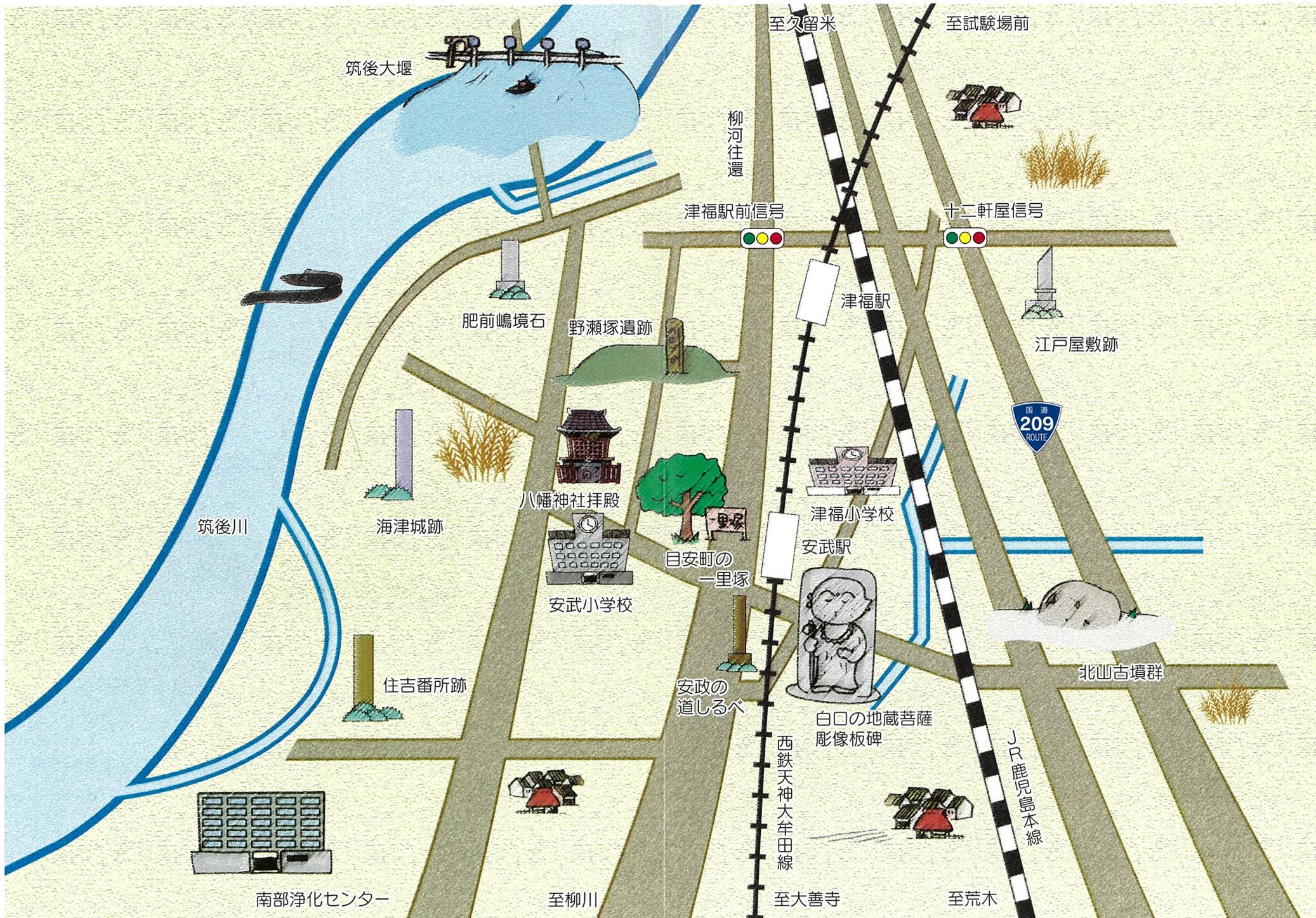
21	坂本2号墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
22	今泉遺跡	縄文・弥生 奈良～室町	弥生時代のムラは10軒以上の竪穴住居が集まっています。この他にも奈良時代や室町時代の有力者の屋敷跡、縄文時代の落とし穴などが見つかっています。
23	今泉古墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
24	立石古墳	古墳	円墳でしたが、今は残っていません。
25	追分古墳	古墳	円墳で、石室の中からはガラス製の小玉や鉄刀、人骨などが出土しました。今は残っていません。
26	安政の道しるべ	江戸	安政4年（1857）、柳河往還と府中道との分岐点に建てられた道しるべです。
27	府中道	江戸	柳河往還から北東へ分かれて府中宿（現在の御井町）まで行く道です。西は住吉まで通じています。
28	池の内古墳	古墳	納骨堂の北側にあった円墳で、今は残っていません。
29	向定覚古墳	古墳	馬具が出土した円墳ですが、今は残っていません。
30	向定覚遺跡	弥生	16基の甕棺墓や、お祭り用の土器が見つかりました。
31	白口宮脇遺跡	古墳	白鳥神社の境内にあり、土器が見つかっています。
32	北山古墳群	古墳	以前は7基の円墳がありましたが、今は2基が残るのみです。
33	津福瓢山遺跡	江戸	溝やゴミ捨て穴が見つかっています。
34	江戸屋敷跡	江戸	明治初期の藩置置県により、江戸の久留米藩邸勤務から帰国した藩士の住まいがありました。

■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です（すべて久留米市の指定）
35	目安町の一里塚	史跡天然記念物	柳河往還沿いに設けられた一里塚で、市内では唯一残っているものです。
36	野瀬塚遺跡	史跡	奈良～平安時代の工房跡と考えられる遺跡で、40軒以上の建物跡が見つかりました。
37	八幡神社拜殿	有形文化財建造物	高良山にあった明静院の本堂を移築して再建したものと伝えられています。
38	古町の市恵比須像	有形民俗	江戸時代以前から古町で市が開かれていたことを物語る、夫婦一对の木像です。
39	肥前嶋境石	有形民俗	肥前国（今の佐賀県）と筑後国との境界を明らかにするために建てられた境石です。
40	白口の地蔵菩薩彫像板碑	有形民俗	応永11年（1404）に彫られた碑です。

■安武・津福校区の歴史年表■

安武・津福校区のできごと	時代	西 暦	日本のできごと
●人々の生活が始まる（城崎・穴口・庄屋野遺跡）	旧石器	20,000	狩り・漁労・採集などで生活する
●落とし穴で動物を狩る（庄屋野・今泉遺跡など）		10,000	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる 落とし穴での狩りが盛ん
●ムラがつくられる（今泉・東鳥遺跡など）	縄文	400	稲作が伝わる
●甕棺墓地がつくられる（汐入・向定覚遺跡など）		紀元前	
●大きなムラが栄える（塚畑遺跡群）	弥生	紀元後	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める
		300	
	古墳	500	筑紫君磐井の乱（527） 仏教伝来（538）
●たくさんの古墳がつくられる （北山古墳群・往還西古墳など）		600	群集墳が盛んにつくられる
	飛鳥	700	大化の改新（645） 白村江の戦いで大敗北（663） 筑紫大地震（679） 平城京に都を移す（710） 筑後国府・国分寺がつくられる
●工房と考えられる大形建物群（野瀬塚遺跡） や有力者の居宅（今泉遺跡）が栄える		800	平安京に都を移す（794）
●鍛冶工房がつくられる（念仏塚遺跡）	平安	鎌倉幕府の成立（1192）	
	鎌倉	室町幕府の成立（1338）	
●白口の地藏菩薩板碑が彫られる （応永11・1404）	室町	1400	応仁の乱（1467）
●有力者の屋敷がつくられる（城崎遺跡など）		1500	
●安武氏居城の海津城と城下町が栄える	桃安山土	1600	豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立（1603） 久留米城下町ができる（1624～44）
●このころ目安町の一里塚がつくられる	江戸	1600	
		1900	明治維新（1868）



筑後大堰

至久留米

至試験場前

柳河往還

津福駅前信号

十二軒屋信号

津福駅

肥前嶋境石

野瀬塚遺跡

江戸屋敷跡

筑後川

海津城跡

八幡神社拜殿

津福小学校



安武小学校

目安町の
一里塚

安武駅

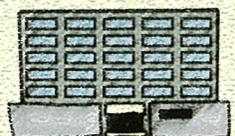
北山古墳群

住吉番所跡

安政の
道しるべ

白口の地蔵菩薩
彫像板碑

JR 鹿児島本線



南部浄化センター



至柳川

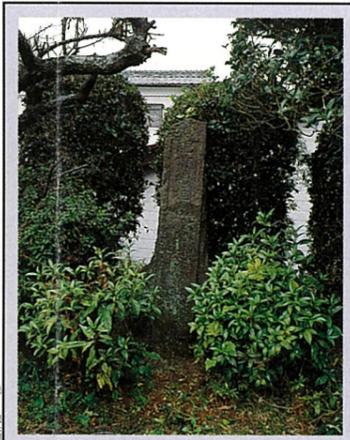
西鉄天神大牟田線

至大善寺



至荒木

文化財マップ



肥前嶋境石



野瀬塚遺跡

奈良～平安時代にかけての工房跡と考えられる建物跡が40棟以上見つかりました。



海津城跡



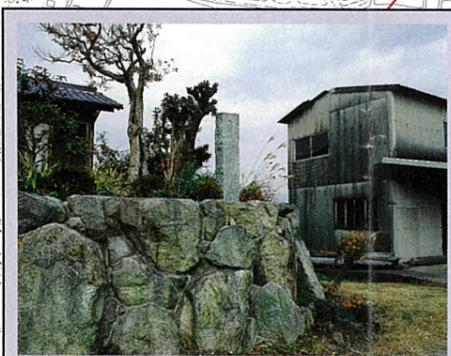
発掘調査で見つかった陶磁器で、中国製の皿や碗の他、備前焼の徳利や、すり鉢が出土しました。



古町の市恵比須像

夫婦一対の木像です。

【森山明典氏所蔵】



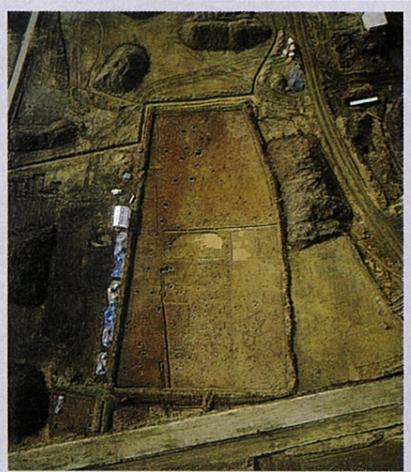
住吉番所跡



八幡神社の拝殿

■ おねがい ■

文化財の中には私有地内にあるものもあります。見学する時には無断で敷地内に立ち入らないようにしましょう。



庄屋野遺跡

白い線で囲んだ穴が縄文時代に掘られた「落とし穴」です。

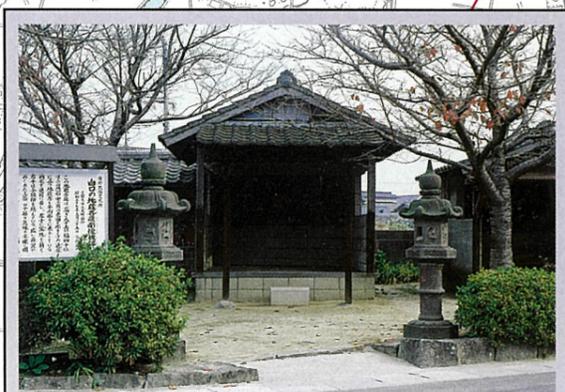


目安町の一里塚

- 凡例**
- 主な遺跡
 - 今も残る古墳
 - 無くなった古墳
 - 古墳群の範囲
 - 城跡
 - △ 石造物など
 - 卍 神社・寺院
 - 指定文化財
 - ♀ バスの路線
 - 校区の範囲



安政の道しるべ

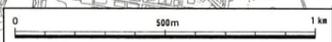


白口の地藏菩薩彫像板碑



北山古墳

昭和46年の発掘調査で表面に黒漆を塗った土器が出土しました。



久留米市埋蔵文化財センターのご案内



“上手にできるかな？”体験学習「勾玉づくり」のようす

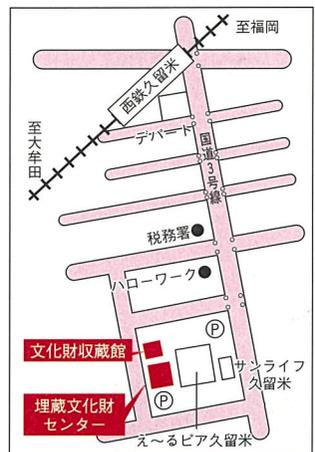
市内の遺跡から出土した土器や、図面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するため、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、企画展として『ふるさとの歴史とふれあっ展』や毎年春には『文化財フェスタ』、秋には『考古資料展』を開催し、合わせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。

歴史に興味のある方もない方も気軽にお越しください。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土・日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



《文化財に関するお問い合わせ先》

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町 15-3 (市役所 12 階)

☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714

E-mail : bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町 1830-6 (えーるピア敷地内)

☎0942-34-4995 ☎0942-34-5045

安武・津福校区の文化財マップ

平成14年3月31日

発行：久留米市教育委員会

編集：教育文化部文化財保護課

〈表紙〉塚畑遺跡群出土の弥生土器